

地域福祉課・中部支所(八日市場町13-1)	☎63-5334・27-2425	FAX27-2412
ボランティアセンター	☎63-6370	FAX27-2412
生活サポートセンターあゆみ	☎63-5224	FAX27-2415
げんこころーむ(小木町曾祢538)	☎65-6120	FAX65-6121
東部支所(二見町茶屋456-2)	☎43-5551	FAX43-4427
西部支所(小俣町元町536)	☎27-0509	FAX27-0570
北部支所(御園町長屋2767)	☎22-6617	FAX22-6604

伊勢社協

検索



<http://ise-shakyo.jp/>

社会福祉協議会「支所だより」のご紹介～より身近な福祉の情報源～

より地域に密着した地域の福祉情報をお伝えすることを目的に、社会福祉協議会では、中部・東部・西部・北部の各支所から、地域の情報を集めた情報紙「支所だより」を発行しています。

社協の事業紹介・支所からのお知らせ・地域で行われているサロン紹介・ボランティア活動の紹介など、たくさんの情報を掲載しています。お得な情報が満載で必見です。

配布方法は、自治会・まちづくり協議会の皆さまのご理解とご協力のもと、回覧板でお知らせしています。

現在は各小中学校区で毎月・隔月・年4回と、地域の状況に合わせて発行しておりますが、今後もより身近な福祉の情報をお届けしていきます。ご期待ください。



地域のイベントなどのご案内



移動スーパーのご案内



自分たちの住んでいる地域の情報が詳しく分かるね



お得な情報が盛りだくさんだね



出前トークの様子



体を動かす講座や、生活に役立つ講座を用意しています



QRコードを読み取ると、出前トークの一覧と申込書がダウンロードできます。

※申込書など詳しくは、社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

※各支所に問い合わせてください。

※会場は各自で用意してください。

※費用は無料で、自治会やこども会・ボランティア・企業などの各種団体、個人では5人以上のグループや家族で利用できます。

※社会福祉協議会の職員が地域に出向き、知りたいテーマで、お話をします。

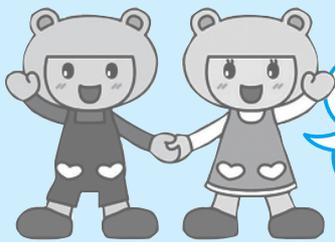
※申込みは無料です。

※申し込みは、社会福祉協議会の職員が地域に出向き、知りたいテーマで、お話をします。

※申し込みは、社会福祉協議会の職員が地域に出向き、知りたいテーマで、お話をします。

活用してください!

令和元年度
福祉出前トークのご案内



「げんここ地域福祉通信」は、地域福祉情報をお伝えるコーナーです。

社協はげんきな こころ応援します

げん

時とき 所ところ 対対象 内内容 定定員 申申し込み 問問い合わせ

げんきくん こころちゃん
●伊勢社協マスコットキャラクター



福祉体験学習の様子



車いすバスケットボール体験の様子



今年も夏休み期間に、ボランティアや福祉への関心を高め、思いやりのある心を育てることを目的に「夏休みちよこつと福祉体験」を開催します。小学4年生から高校3年生を対象に、さまざまな福祉体験ができる活動の場を提供します。

時 7月29日(月)～8月24日(土)

内 リサイクル体験、車いすバスケットボール体験、福祉体験学習、子育てサロン体験、宅老所体験、児童館体験、マジックボランティア体験、障がい者就労支援施設体験、高齢者デイサービス体験など、さまざまなプログラムがあります。

申 所定の参加申込書に記入の上、ボランティアセンター・げんこころ一む・各支所に直接または郵送・ファクス・Eメール・申込箱への投函などで申し込んでください。申込箱の設置場所は、申込書に記載しています。

※申込書は小中学生の場合、学校から配布されますが、高校生に関しては各学校に配置しています。

※申し込み多数の場合は、抽選となります。

夏休みちよこつと福祉体験に参加しませんか!?

問 ボランティアセンター
(☎63-6370 FAX)27-2412
✉iseshakyo.isevc@gmail.com

学校、自治会、企業の皆さまへ

ボランティア 地域貢献活動入門講座 出前講座のご案内

ボランティアをしてみたい! 地域貢献をしたい! どうすれば始められるの...と思っている人たちに向けての、ボランティア活動・地域貢献活動の始め方について、ボランティアセンターの職員が地域に出向いて講座を行います。費用は無料です。

学校・自治会・企業・事業所で、ぜひ活用してください。
また、日時や内容など相談に応じますので、お気軽に相談してください。

問 ボランティアセンター (☎63-6370 FAX)27-2412)

ヘアドネーションって知っていますか?

ヘアドネーションとは、がんや白血病・先天性の無毛症・不慮の事故などで髪の毛を失った子どもたちに、寄付された髪の毛を使い完全オーダーメイドの医療用ウィッグを無償提供する活動です。

私も協力しました!



楠 咲星さん

病気で髪の毛を失った人たちの役に立てばと思い、ボランティアで協力しました

市内でもその活動は広がっており、幅広い世代の皆さんがこの取り組みに協力しています。

髪の毛を寄付するときの注意点として、31cm以上の長さが必要で、切り口を輪ゴムでしっかり留めるなど、カット方法は理・美容院で相談が必要です。

※送付先については、複数あり、インターネットで検索すると、取り組んでいる団体が分かります。送付料金については自費になります。

ヘアドネーション [検索](#)